

注意

本製品をご使用の前に必ずお読みください。

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。本製品の使用にあたり、いくつか注意事項がございます。以下に内容を記しますので、ご使用前に必ずご確認ください。

記

1. Macintosh ユーザのアクセスについて

Macintosh ユーザから本製品へ AFP で接続した場合、本製品に登録されていないユーザからもログインが可能となっております。

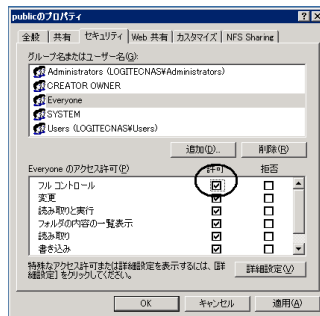
Macintosh から AFP 接続を行なったユーザに対してアクセス権限の設定をおこなう場合には ACL (Access Control List) の設定を行なう必要があります。

ACL (Access Control List とは)

フォルダに対してのユーザーのアクセス権の設定を記録したリスト。

ACL を設定するには、管理 Web UI から「メンテナンス」-「リモートデスクトップ」を開き設定を行ないたい共有フォルダに対して右クリックし、「プロパティ」を選択し、「セキュリティ」タグを選択します。

右図の「追加」ボタンをクリックしアクセス権を設定したいユーザを追加し「OK」をクリックします。



2. Linux クライアントからのアクセスについて

本製品へ Linux クライアントから NAS をマウントする際には NIS ドメインでのユーザ管理下での使用が前提となっています。

NIS サーバがない環境のお客様は新規に共有フォルダを作成した際に、以下の手順で作成した共有フォルダに対してのアクセス権限を設定してください。手順については裏面をご参照ください。

ソフトウェアマニュアル「3.7 共有フォルダ」に沿って共有フォルダへのUNIXユーザの使用を許可します。

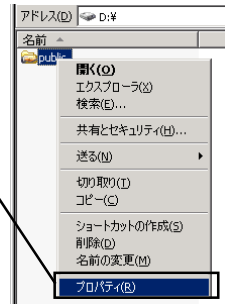
管理Web UIから「メンテナンス」-「リモートデスクトップ」を開きます。

リモートデスクトップにて「スタート」-「マイコンピュータ」を開きます。

共有フォルダにマウスカーソルを合わせマウスを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

クリック

ここではD:\public フォルダに対する説明を行いません。

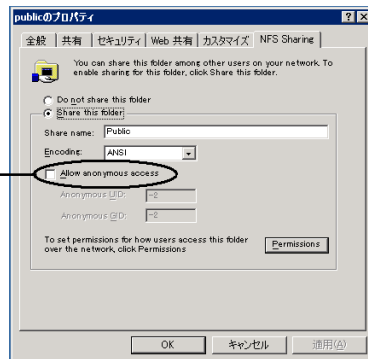


publicのプロパティ画面より「NFS Sharing」タグを開きます。

Share this folder 欄内の「Allow anonymous access」のチェックボックスにチェックを入れます。

その際に「Anonymous UID」と「Anonymous GID」の値は変更しないでください。

チェック



「セキュリティ」タグを開き追加ボタンを押し「Everyone」を追加します。Everyoneのアクセス許可にて「フルコントロール」にチェックを入れます。

上記の様にNISサーバを伴わない環境でLinuxクライアント(NFS)とMacOS(AFP)の混在する環境の場合、NFSに対しEveryoneフルコントロール権を与えなくてはならないので、共有フォルダに対してのAFPに関するアクセス権を設定することができません。